

NO	グループ	カテゴリー	付箋の内容
1	1	高齢化	高齢化。10年後の不安
2	1	高齢化	高齢化
3	1	孤立	孤立
4	1	孤立	インターネットを通じたつながりのメリット・デメリット
5	1	孤立	つながりの必要性
6	1	孤立	家から出ない方は？
7	1	孤立	高齢者だけでなく孤独死あった
8	1	つながり	となり組の関係が希薄
9	1	つながり	老人クラブの役員が嫌解散。つながりの喪失
10	1	子ども	子育てサロン
11	1	子ども	子どもが障害あるのでと不安な親→相談場所がわからない
12	1	担い手の不足	担い手不足
13	1	担い手の不足	福祉自動車の運行
14	1	担い手の不足	働いている方が多くボランティアいない
15	1	担い手の不足	バス路線
16	1	なし	身寄りのない方が困っている
17	1	なし	病気独人
18	1	なし	個人情報×だから支えあいマップ難しい
19	1	なし	責任の所在が活動を、、、。
20	1	なし	生活課題が地域の課題となるのでは？
21	1	なし	貧困化の加速
22	2	居場所	毎月11日のサロン参加者が増えてきた先月30人くらい
23	2	居場所	居場所へいく足がない
24	2	居場所	11に開催 5人→30人へ。ゾロ目開催の企画あり
25	2	居場所	朝陽居場所22か所
26	2	居場所	集まる機会を作らないと。できるだけ人との交流
27	2	居場所	居場所づくりを増やしていきたい
28	2	居場所	地域の団体が解散し始めている。つながらない人が増えた
29	2	居場所	福祉自動車、家事援助、買い物お助けマン等への協力者の不足
30	2	居場所	カフェ 2か月に1回。人数多い。相談者来ない
31	2	居場所	各所で実施している集いの場へ参加する足がない
32	2	そうはいつでも固定	会に参加する人が固定化されている
33	2	子どもの企画	親子ひろばを実施しているが参加者が減少傾向にある
34	2	子どもの企画	公民館の行事に子供の参加がある。子供の見守りにつながっている
35	2	でも誘われれば	いろいろな会への出席をためらっている。誘われれば出席する方が多い
36	2	でも誘われれば	誘う人の熱意
37	2	役員・組織の課題	民生委員の負担増
38	2	役員・組織の課題	自治会の事業がつながっていかない。毎年入れ替わり。任期？
39	2	役員・組織の課題	受け身
40	2	役員・組織の課題	役員が楽しそうにみえない。大変そう
41	2	役員・組織の課題	継続する福祉必要。役員の意識
42	2	役員・組織の課題	縦割りでなく横ぐしを
43	2	役員・組織の課題	地域の組織が交流なし。自治会、老人会、育成会、公民館（縦割りでなく）
44	2	役員・組織の課題	役員の事業に対する姿勢や対応
45	2	一人暮らし高齢化	一人暮らしが多くなっている。住民との交流が少なくなる
46	2	一人暮らし高齢化	高齢化が進んで事業の担い手が心配
47	2	一人暮らし高齢化	一人住まいの方 サロンに出てこない
48	2	一人暮らし高齢化	助け合い事業のボランティア不足
49	2	一人暮らし高齢化	高齢者の一人暮らしが非常に多い。区、隣組の役員の成り手がいない。引き受けてくれない
50	2	新しいヒント・工夫	終わりは始まり
51	2	新しいヒント・工夫	資源マップづくり
52	2	新しいヒント・工夫	新聞記事からヒントをもらう。（他地区で実施しているもの）
53	2	新しいヒント・工夫	新しい事をやるとき、他の公民館自治協に意見を聞く
54	2	新しいヒント・工夫	一人じゃうかばない。話さなきゃだめだ

第1回作業部会意見のまとめ
「課題だと思うこと・感じること」

NO	グループ	カテゴリー	付箋の内容
55	2	新しいヒント・工夫	地区ボラセンが元気
56	3	各地区福祉部会で行う活動	福祉バザーがR7（50日）で終了。行事に合わせて片隅でやっていた
57	3	各地区福祉部会で行う活動	地区行事難しい。高齢化、人材不足
58	3	各地区福祉部会で行う活動	内容がなくなっている
59	3	高齢化担い手の減少	安茂里杏花台区若い世代少しずつ増えている
60	3	高齢化担い手の減少	高齢者が多い
61	3	高齢化担い手の減少	人口減（どの地区も）
62	3	高齢化担い手の減少	空き家空き地増えている地域の連携難しい
63	3	高齢化担い手の減少	集落ごとの孤立
64	3	高齢化担い手の減少	役員のなりてがいない
65	3	高齢化担い手の減少	高齢者のゴミ出し問題
66	3	高齢化担い手の減少	担い手不足
67	3	高齢化担い手の減少	コミュニケーション不足で困りごとがわからない
68	3	高齢化担い手の減少	公営住宅の高齢化。区として成立しない
69	3	高齢化担い手の減少	団地全体で高齢化。区の機能停止
70	3	高齢化担い手の減少	役について、年齢順難しい。役自体を統合
71	3	高齢化担い手の減少	老人会の廃止
72	3	地域福祉活動計画	福祉活動が浸透しない
73	3	地域福祉活動計画	課題・計画についての周知が難しい
74	3	地域福祉活動計画	活動計画は新しい役の人が理解できるように
75	3	地域福祉活動計画	地域福祉活動計画を浸透させるのは難しい。
76	3	足の問題	足の問題
77	3	足の問題	たすけあい事業→信里△（協力会員いない）
78	3	足の問題	アンケート（共和）→とくし丸。塩崎→距離の問題で×
79	3	新しい活動	新しい活動を創出するにあたり基礎になるものがあると新しいものを作りやすい。
80	3	学校との関わり	先生が変わるとガラッとかわる
81	3	学校との関わり	子どもが少ない
82	4	移動手段	公共交通バスのなかで会う機会の減
83	4	移動手段	移動手段の減。高齢者が動かない
84	4	移動手段	公共交通の廃止等による移動手段がなくなっており、孤立化している
85	4	移動手段	少子化による地域の活性化がなくなっている
86	4	移動手段	福祉移送
87	4	移動手段	足がない。公に来るまで大変。包括頼まないと来れない
88	4	子どもがカギ	中学移行
89	4	子どもがカギ	子どものときの体験が大事。祭り、ボランティア
90	4	子どもがカギ	長野南ボラ盛ん。中学が臨機応変に動いてくれる
91	4	子どもがカギ	大人も子供に戻って楽しむ企画を考える
92	4	子どもがカギ	大人も楽しいと思うと参加する
93	4	子どもがカギ	子ども若者の力をもっと借りよう
94	4	子どもがカギ	自分たちで企画
95	4	子どもがカギ	子どもの頃の体験は地域活性化のもと
96	4	世代間交流	楽しい出会いの場を作ろう
97	4	世代間交流	子どもが少ない
98	4	世代間交流	子どもが参加できる行事が高齢者も一緒に出てくれる
99	4	世代間交流	地区内交流。子供のお祭り
100	4	世代間交流	地域づくりは人づくり
101	4	世代間交流	世代間交流中学生参加率先してやる役員いないほうがいいよね
102	4	世代間交流	高齢者の集まりやすさの居場所作り。
103	4	世代間交流	小中学生の学校以外の交流場所
104	4	世代間交流	独居の増加→見守り
105	4	世代間交流	包括のある強みは看護師に相談できること
106	4	認知症	若穂福祉祭り 12月認知症セミナー
107	4	認知症	自分が認知症サポーターをやることで自分の予防になっている
108	4	認知症	一般の人に興味があれば人は集まる 認知症セミナー
109	4	認知症	認知症を正しく周知するのは行政の出番

第1回作業部会意見のまとめ
「課題だと思うこと・感じること」

NO	グループ	カテゴリー	付箋の内容
110	4	認知症	認知症セミナー100人集まった 信大、一般、多くきすぎてびっくり
111	4	認知症	あーやれ、こーやれ、自然な変化と認知症サポーター
112	5	サロン関係	高齢者のサロンを区でやっているが同じ人が参加
113	5	サロン関係	サロンに女性が多いが男性が出てこない
114	5	サロン関係	古くからのところ入りにくい。新しいところがあればよい
115	5	サロン関係	コロナ後機会減ってサロンに変えた。あると良いものだ
116	5	サロン関係	酒があれば男性も出てくる
117	5	サロン関係	「むじん」あれば？若い人たちやってる
118	5	サロン関係	一人暮らし対象お食事会→来ない人安否確認
119	5	男性のサロン参加	よう曲、詩吟 新町多い
120	5	男性のサロン参加	おみこし。 外国の方も
121	5	男性のサロン参加	公民館サークル男が多い。ハーモニカ等
122	5	まちづくり大人と子供つながる場	神楽が地区で復活したその際子どもが参加することで知らない地区の人と知り合いになりお互いに声をかけられるようになった
123	5	まちづくり大人と子供つながる場	子ども減。世代間つながりも減った
124	5	担い手の不足	ボランティア、ワーカー等担い手不足
125	5	担い手の不足	活動計画のたすけあい事業が高齢化で止まりそうで困る
126	5	担い手の不足	たすけあい送迎1台やりくり大変
127	5	担い手の不足	草刈りなど自宅周辺の管理困難
128	5	担い手の不足	人口減少高齢化で助け合いが難しくなっている
129	5	担い手の不足	生まれ育った地区ではなく同世代が多いが子どもが進学就職で家からいなくなる世帯があり今後心配だ
130	5	多様性	つながりを求めない人もいる。いてもよい
131	5	把握手段がない	生活課題を持つ人の把握ができない
132	5	把握手段がない	ケアマネ、民生委員、地域福祉ワーカー個人情報共有難しい。一緒にいけない
133	5	楽しいポジティブな取り組みを	公民館の活動とセットにすると人がでてくれる。文化発表会等
134	5	楽しいポジティブな取り組みを	高齢化、ネガティブ思考からポジティブ思考へ。ボツンと一軒家
135	5	楽しいポジティブな取り組みを	社会の変化に合わせて活動しやすい環境づくりを
136	5	独居	一人暮らし世帯が多くなっている
137	5	独居	少子高齢化が進んでいる
138	5	独居	一人暮らし世帯が増加の一途
139	5	独居	自宅周辺の雪かきできない方もいる
140	5	独居	空き家が増えて管理をどうするか
141	5	見守り安否確認	隣の家の主人が亡くなり独居老人がいる。元気かなかなか声をかけられないが夜電気がついていてか気にしている
142	5	見守り安否確認	誰かがつながっていて漏れのないようにしたい
143	5	見守り安否確認	デマンド利用者支援を受け入れない頑固な人がいる
144	5	見守り安否確認	新聞配達たまる→住自協→本人倒れていた
145	5	見守り安否確認	事業者さんとの協定大切
146	5	見守り安否確認	若い頃からの関係づくり
147	5	見守り安否確認	支援つながらない地域包括などにつなげていく
148	5	相談窓口へのつながりやすさ	住自協への相談少ない
149	5	相談窓口へのつながりやすさ	自分から相談できる人は少ない。積極的な発信、地区回りを
150	5	相談窓口へのつながりやすさ	相談しにくいこともある
151	5	相談窓口へのつながりやすさ	住自協では対応できないことは市・社協がきてくれた。来てくれるとは知らなかった
152	5	相談窓口へのつながりやすさ	市・社協は地元より相談しやすい
153	5	相談窓口へのつながりやすさ	相談先とのつながり方、連携の方法
154	5	地区役員	人口減少高齢化で地区の役員が出せない
155	5	地区役員	民生委員出せない地区でてきた
156	5	地区役員	急速な高齢化で自助共助が不可能になりつつある
157	5	地区役員	なり手不在 役員、お祭りが減少
158	5	交通	交通機関不足、大きな病院への通院困難
159	5	交通	路線バスが廃止で出歩けない
160	5	交通	タクシーも人手不足。白馬に集まっている

第1回作業部会意見のまとめ
「課題だと思うこと・感じること」

NO	グループ	カテゴリー	付箋の内容
161	5	交通	お金出してもタクシーが動かない土日夜
162	5	交通	デマンド土日夜動かない
163	5	交通	地区を出てしまう方も
164	5	その他	地区の実情にあった計画が必要か